

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務 雪氷対策作業		会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)		
工期	令和6年11月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	小瀬 裕之		
作業名称	①松ノ木PA電気室の通路除雪		作成年月日	令和3年2月4日		
使用機械 (具体的な名称・クラスを記す)	トラック、ミニロータリー		現場責任者	百瀬サイン		
	ミニバックホウ(0.066m)、3セーフティローダンプ					
使用工具 (大きさ等は具体的な寸法を記す)	スコップ、スノードンプ、足場(ミニロータリー積み降ろし用)、規制材		元請確認	令和5年1月18日		
	シャーピン、シャーピン補修工具、ガソリン					
保護具	ヘルメット、チョッキ、安全靴、手袋、警笛、黄旗又は赤色誘導棒		作業順序			
	ヘルメット、チョッキ、安全靴、手袋、警笛、黄旗又は赤色誘導棒					
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特)の区別を記す	普通免許、車両建設機械(整地関係)運転(技)				1	事前調査
					2	準備作業
作業人員 (当作業に関わる役割と人員を全て記す)	責任者1人、作業員5人、監視員1~2人				3	作業開始連絡
	合計 7~8 名				4	規制設置
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)				5	排雪作業
		周知会実施日			6	規制撤去
			7	作業終了連絡		
			8	後片付け		

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○○	○△	○×	○○	1:極めて小さい 関係者に対する周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△○	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい 関係者に対する指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	××	○×、△△、×△ △×、×△	3:中程度 職長が確認
					××	4:かなり大きい 工事担当責任者が確認
5:極めて大きい 十分に訓練をした対策が必要						

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目 (誰 が)	内容	留意事項	危険性・有害性の洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル ミス・ロス	危険性・有害性の除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)
事前調査(雪氷巡回等)	作業箇所確認 周辺安全確認	作業必要箇所の洗い出し 危険ポイントの確認 路肩の除雪状況						
準備作業	ミーティング 機械・道具の点検 作業箇所の確認 積み込み	健康状態の確認 免許・資格等の確認 日常点検により機械・道具の動作の確認 雪氷本部で当日作業箇所の確認 運搬車両に使用機械・道具・ガソリン・規制材を積み込む						
作業開始連絡	雪氷本部にて作業開始連絡							
規制設置	路肩へ流入 規制の設置	国道156号の路肩の積雪状況を確認 路肩に車を止め、トラックから矢板・ラバコンを降ろし規制を設置する。	路肩へ流入する時に、雪の中に無理やり突っ込みスタックする。	△	△	△△	3	流入箇所の手前からハザード・回転等では注意喚起を行いながら減速し、路肩を確認して雪が多い場合は無理して入らない。
排雪作業	使用機械を運搬車両の荷台から降ろす。 " 作業場所へ移動 ミニロータリーで排雪 手元作業 バックホウで作業 最終確認 片付け "	足場を使用し使用機械を低速走行で降ろす。 使用機械を降ろす時に足場から足を踏み外し転落する。 使用機械を降ろす時に足場から足を踏み外し転落する。 車両の接近を確認したら、監視員は警笛で合図する。 ミニロータリーで雪を路肩の奥の方へ飛ばす。 ミニロータリーで作業できないところは手元作業員の手により除雪する。 責任者は路面状況を確認し、必要であれば小袋を散布する。 使用機械についての雪を降ろし、運搬車両まで回送する。 運搬車両に足場を設置し、使用機械を低速走行で積み込む。	使用機械を降ろす時に、ミニロータリーに近づきすぎオーガに巻き込まれる。 バックホウを放回させたときに、近くで作業していた作業員に気が付かず接触し負傷させる。 ミニロータリーの雪を落とすためにオーガに近づいた際に、誤作動でオーガが動きだし、オーガに手足を巻き込まれる。 ミニロータリーを積み終わったときに、荷台から飛び降りけがをする	△	×	△×	4	足場をしっかりと確認しながら低減して低速走行で使用機械を降ろす。また、バックホウを降ろす際は監視員を配置する。 作業前にシフト方向を確認する。また、作業方向を変える時は一旦作業を止め、再度シフト方向の確認を行う。 作業間隔を5m程度離し、ロータリーの位置を確認しながら作業を行う。 バックホウが作業する場合は、事前に立入禁止箇所を全員で定める。また、監視員を配置しバックホウに近づいた時は笛の合図で知らせる。 必ずミニロータリーのエンジンを切る。また、近づいた際もエンジンが切れていることを確認した後作業を行う。 荷台から降りる時はステップを利用し、ゆっくり降りる。
規制撤去	規制の撤去 路肩から流出	後方確認を目視にて行い現場を離脱する。						
作業終了連絡	雪氷本部へ作業終了連絡	別の場所で作業をする時は、規制番号を報告する。						
後片付け	洗車・給油を行い車両を片付ける							
※ 作業ができなかった箇所は本部に連絡し、別の作業方法を検討する。								